

7 章 災害廃棄物処理実行計画の作成

発災前に作成した処理計画を基に，災害廃棄物の発生量と廃棄物処理施設の被害状況を把握した上で，実行計画を作成する。

発災直後は災害廃棄物量等を十分に把握できないこともあるため，災害廃棄物処理の全体像を示すためにも実行計画を作成する必要がある，処理の進捗に応じて段階的に見直しを行う。実行計画の具体的な項目例は，表 2-7-1 のとおりとする。

表 2-7-1 実行計画の項目例

1 実行計画の基本的考え方
1.1 基本方針 1.2 実行計画の特徴
2 被災状況と災害廃棄物の発生量及び性状
2.1 被災状況 2.2 発生量の推計 2.3 災害廃棄物の性状
3 災害廃棄物処理の概要
3.1 災害廃棄物の処理に当たっての基本的考え方 3.2 市内の処理・処分能力 3.3 処理スケジュール 3.4 処理フロー
4 処理方法の具体的な内容
4.1 仮置場 4.2 収集運搬計画 4.3 解体・撤去 4.4 処理・処分
5 安全対策及び不測の事態への対応計画
5.1 安全・作業環境管理 5.2 リスク管理 5.3 健康被害を防止するための作業環境管理 5.4 周辺環境対策 5.5 適正処理が困難な廃棄物の保管処理方法 5.6 貴重品, 遺品, 思い出の品等の管理方法 5.7 取扱いに配慮が必要となる廃棄物の保管管理方法
6 管理計画
6.1 災害廃棄物処理量の管理 6.2 情報の公開 6.3 都道府県, 市町村等関係機関との情報共有 6.4 処理完了の確認（跡地返還要領）